

授業科目名	日本語研究A	教員名	川越 勇二
		Eメールアドレス	ykawagoe@sky.miyazaki-mic.ac.jp
授業形態	講義	オフィスアワー	授業終了後随時
科目番号	JESA-1	担当形態	単独
単位数	1単位	配当年次	3・4年
アクティブ・ラーニング	対話を重視し、ペア・ワーク、グループ・ワーク、プレゼンテーション、ディスカッション等の活動を行う。	卒業要件	必修
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語への関心を高め、日本語の特質を理解する。【日本語への関心・理解】 ・さまざまな表現方法を理解し、自分の考えや心情を表現できる。【表現方法の習得・活用】 ・表現することを通じて、他者や社会とつながり、より良い生き方を探求する。【生き方の探求】 		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> (1) 話題や題材を生かし、情報を分析しつつ、論理的思考ができる。 (2) 相手の立場や自分とは異なる考えを尊重し、意義ある討論を行い、論拠の妥当性を判断できる。 (3) 論理の構成や描写の仕方などをさまざまに工夫して表現できる。 (4) 日本語におけるさまざまな表現法を習得し、相手意識をもって話したり書いたりできる。 (5) 読書の幅を広げ、読書に親しみ、自分の生き方を考えることができる。 (6) 言語文化に対する関心を持ち、それらを尊重しつつより視野を広げることができる。 		
授業の概要	<p>価値観の多様化する現代において、言語環境は大きく変容しているが、その中において、論理的に思考する力、豊かな発想のもととなる創造力、またそれを表現する力が必要不可欠となっている。本授業では、日本語表現についての理解を深め、言語感覚を磨くとともに、日本語で適切かつ効果的に表現する能力の育成をめざす。内容は、宮崎にまつわるすぐれた文学作品を題材に、その鑑賞と批評、作品の創作および発表、相互評価等である。單元ごとに、プレゼンテーションやディスカッション、相互評価、自己評価（レポート）といった言語活動を繰り返す中で、日本語に対する興味・関心を高め、表現することの意義を考えさせたい。</p>		
ディプロマ・ポリシーとの関係	<p>本講義は、学科のディプロマ・ポリシーに掲げる「1. クリティカル・シンキング（批判的・分析的思考法）をベースにした高度な思考（比較、分析、総合、評価）能力を身につけている。3. 課題発見および問題解決能力を身につけている。4. 日英両語における高度なコミュニケーション能力を身につけている。」を育成する科目として配置している。</p>		
履修条件・注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・講義には常に出席し、講義の時間に遅刻しない。 ・正当な理由（証明）のない遅刻については、1/2の出席とする。 ・講義の出席が3分の2を満たさない者は辞退とする。 		
授業計画	<p>第1回：授業概要説明・みやざきの文学についてのガイダンス（目標(5)(6)） 第2回：短歌の鑑賞・批評（目標(1)(2)(5)(6)） 第3回：短歌の創作と相互評価（目標(1)(2)(3)(4)） 第4回：俳句の鑑賞・批評（目標(1)(2)(5)(6)） 第5回：俳句の創作と相互評価（目標(1)(2)(3)(4)） 第6回：随筆の鑑賞・批評（目標(1)(2)(5)(6)） 第7回：小説の鑑賞・批評（目標(1)(2)(5)(6)） 第8回：みやざきの文学についてのまとめ（目標(1)(2)(5)(6)） 定期試験：みやざきの文学についてのレポート</p>		
学生に対する評価	<p>出席と授業への取り組み状況（30%）・課題・レポート・発表（30%）・定期試験（40%）を総合して評価する。 なお、課題・レポート・発表等へのフィードバックについては、以下の方法による。 ・コメントを記載して返却する。 ・授業またはオフィスアワーに口頭で行う。</p>		

	<ul style="list-style-type: none"> ・模範例を提示する。
時間外の学習について	<ul style="list-style-type: none"> ・課題・レポート・発表資料については、必ず指定された日までに提出すること。 ・発表等の準備を周到に行うこと。
テキスト	授業時に適宜教材・資料を配布する。
参考書・ 参考資料等	随時、適切なテキスト・資料等を紹介する。